

# 患者の皆様へ

2021年6月22日  
修正 2022年4月6日  
アレルギー膠原病内科、皮膚科

現在、アレルギー膠原病内科では、「乾癬患者の皮膚病変部におけるチロシンキナーゼの発現と病勢評価」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2015年4月～2021年8月の間に当院で乾癬と診断、皮膚生検を行った患者さんの過去の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名「乾癬患者の皮膚病変部におけるチロシンキナーゼの発現と病勢評価に関する研究」

**2. 研究の意義・目的** 乾癬は、ケラチノサイト（表皮角化細胞）が異常に増殖するという特徴を持っています。この病気の病態形成に関して、体内の IL-17 という分子の重要性が判明してきています。当研究室にてケラチノサイトにおける IL-17 の経路を調べたところ、チロシンキナーゼというものが多く発現していることがわかりました。この分子が乾癬との関連性について調べられたことはありません。「乾癬の皮膚にチロシンキナーゼが多く存在している」などの傾向をつかむことができれば、将来的に、乾癬の患者様の治療に役立つと考えられます。

**3. 研究の方法** 乾癬の評価に用いられる PASI スコアを用い病勢を評価し、さらに皮膚生検を行う際に、診断に用いる部分以外に余った皮膚検体を解析します。また、PASI スコアを参照して、各患者様の情報を収集し解析します。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名、住所、現在の年齢などの情報を削除して匿名化した上で外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院 医学研究院 アレルギー臨床免疫学教室の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 外部への試料・情報の提供

当院および協力施設から匿名化された電子媒体のデータを収集し、千葉大学で解析を行います。外部施設へデータを提供することはありません。

## 6. 研究組織

千葉大学医学部附属病院

## 7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院アレルギー膠原病内科  
**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院アレルギー膠原病内科  
医師 矢部遥子/栗原俊二郎  
043 (222) 7171 内線 5531

**研究代表機関** : 千葉大学医学部附属病院アレルギー膠原病内科  
**研究代表者** : 中島 裕史